

電車どおり



今月の表紙
NICU・GCU開設
50周年記念市民公開講座

ホームページ
はこちら



もくじ

1. NICU・GCU(未熟児センター)
開設50周年記念市民公開講座を開催 … 2p
2. NICU・GCU(未熟児センター)
開設50周年記念ムービーを作製しました … 3p
3. 世界糖尿病デー 市民公開講座を開催 … 3p
4. 広報誌「電車どおり」第200号発行！ … 4p

11月25日に開催した市民公開講座は、グーグルフォームによる申し込み、当選者にはメールにてご連絡とさせて頂きました。不慣れな為、ご迷惑をお掛けした点もあるかと思いますが、皆様のご協力で大きな混乱もなく開催できましたこと、改めて感謝申し上げます。



基本方針

- 道南の基幹病院として急性期医療に取り組みます。
- 断らない救急医療を実践し、住民の信頼と期待に応えます。
- 総合周産期母子医療センター及び北海道がん診療連携指定病院として高度で専門的な医療を提供します。
- 「患者さまの権利」を尊重し、安心して安全なチーム医療を実践します。
- 医療環境の発展と充実のため、地域の行政・医療機関との連携を強化します。
- ワークライフバランスに配慮した職場環境づくりと人材育成に力を入れます。

【患者さまの権利】

- ・安全で良質の医療を平等に受ける権利
- ・自らが受けている医療について、十分な説明を受け、知る権利
- ・セカンドオピニオンを求める権利
- ・自らが受ける医療に参加し自己決定する権利
- ・個人のプライバシーが守られる権利
- ・個人として常にその人格、価値観が尊重される権利

【患者さまの義務】

- ・自らの健康状態を医療者にできるだけ正確に知らせる義務
- ・医療者の説明や自らの疾病状態の理解に務める義務
- ・病院の規則や医療者の指示に従い、医療に参加・協力する義務
- ・他の患者さまの治療や医療者の業務に支障をきたさない義務
- ・受けた診療に対し、医療費を支払う義務

1. NICU・GCU(未熟児センター)開設50周年記念 市民公開講座を開催

11月25日(土)13:00よりNICU・GCU(未熟児センター)開設50周年記念 市民公開講座を開催致しました。1000人を超えるご応募を頂きましたが、会場の収容人数の都合により抽選となり、約300人の方へご当選の旨メールさせていただきました。



当日はあいにくの悪天候にもかかわらず、300人の方にご来場いただき、大盛り上がりの市民公開講座となりました。

当院の病院長・本橋 雅壽 先生のあいさつで幕開けし、第一部は当院副院長であり総合周産期母子医療センター長(小児部門)でもある木田 毅 先生の講演、第二部の特別記念講演ではTEAM NACS 森崎博之 氏をお迎えし、『生きることは食べること』と題してお話しいただきました。

第三部のパネルディスカッションでは、木田先生、森崎氏に加え、北海道大学総長の寶金清博 先生、大泉潤 函館市長にご登壇頂き、『待ったなし、少子化について考える』と題してお話しいただきました。



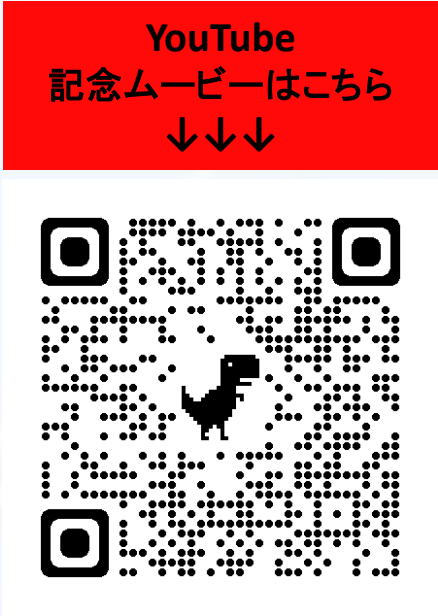
当日来場者へお配りしたクッキーは、社会福祉法人かいせいで作製したものです。

かいせいは、障がいを持ちながら就労の場を確保できず在宅している人達に、仲間と共に作業を行い、生きがいと喜びを持って生活がおくれるように支援することを目的とした社会福祉法人です。「かいせいクッキー」は障がいを持っている人達が仲間と共に1つ1つ心を込めて作っている手作りクッキーです。



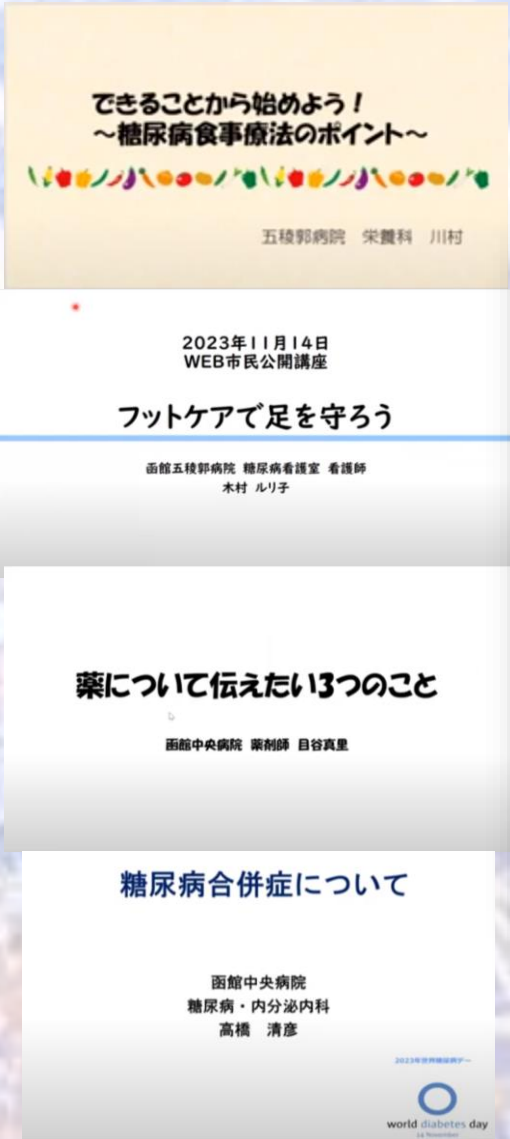
2. NICU・GCU(未熟児センター)開設50周年記念ムービーを作製しました

この度のNICU・GCU（未熟児センター）開設50周年を記念いたしまして、ムービーを作製いたしました。
NICU・GCUの歩みとこれからの決意が様々な写真や動画によって彩られております。
当院のYouTubeチャンネルにて公開中ですので、ぜひご覧ください。



3. 世界糖尿病デー Web市民公開講座を開催

「世界糖尿病デー」の11月14日にWeb市民公開講座を開催致しました。
当院の糖尿病・内分泌内科医長の小野先生を司会とし、函館五稜郭病院の川村 管理栄養士と木村看護師、当院の目谷薬剤師と糖尿病・内分泌内科 高橋医師が講演を行いました。



こちらの模様は当院のYouTubeチャンネルにて公開中ですので、ぜひご覧ください。
また、当日は昨年同様に当院を世界糖尿病デーのイメージカラーであるブルーにライトアップ致しました。当院の他に、金森商船株式会社さんのご協力により、金森赤レンガ倉庫 BAYはこだて さんもブルーにライトアップ致しました。
市民公開講座をご視聴頂いた皆さま、ブルーライトアップにご協力いただいた、金森商船株式会社さん、誠にありがとうございました。



4. 広報誌「電車どおり」第200号発行！

函館中央病院広報誌「電車どおり」はこの度、第200号を発行することができました。
「電車どおり」は平成17年（2005年）10月10日に創刊し、令和2年（2020年）8月25日発行の第180号までは毎月発行され、第181号からは隔月発行となり、令和5年（2023年）12月28日発行分で第200号に到達いたしました。
この18年間で様々な出来事がありました。そんな出来事と当院の関りなどを綴った「電車どおり」の記事を振り返ってみたいと思います。

創刊号
(2005年10月)



第50号
(2009年10月)



第69号
(2011年5月)



ごあいさつ

病院長 橋本 友幸

当院は昭和5年に開院され、本年で75周年を迎えました。この間、地域に密着した医療の充実に努力して参りました。もちろん、医療環境や医療事情の多くが変化してきましたが、医療従事者の心は昔も今も変わらないものと思います。

“心ある医療”の実践はもちろんですが、提供する医療内容には種々の変化や変遷があります。このように刻々と変化していく医療情報や病気の解説を地域の住民の皆さまに対してわかりやすく説明、提供し、また現在、当院が提供している医療や病棟、施設環境あるいは院内における催し、イベントなどの情報について広く知っていただくべく、この度、病院広報誌として発行する運びとなりました。

どうかこの“電車どおり”が皆さまの医学知識のプラスになり、医療に対して不安に思っていることに答えることができる情報誌として職員一同で育て、又皆さまにも育てていただきたく祈願して、本紙発行のご挨拶とします。

マスクの正しい付け方

最近は色々な形をしたマスクがあります。正しくマスクを着用しなければ効果がうすれてしまいます。正しい着用で感染防止を心がけましょう。

①マスクを顔にあて、ヒモまたはゴムで固定する。

②ノーズブリッジを鼻に合わせ、フィットさせる。

③マスクの蛇腹を引っ張りあごまで覆う。

ノーズブリッジ部分

蛇腹の向きを間違えると、溝に汚れが付着しますので注意しましょう。

被災地で“心ある医療”を

5月19日（木）、当院の医師らで編成した医療チームが岩手県へ向けて出発し、20日（金）から東日本大震災で被災した岩手県山田町の医療支援に当たりました。

震災後に組織された日本医師会災害医療チーム（JMAT）の要請を受けての派遣で、医療チームは整形外科医の石倉久光医師と救急看護認定看護師の鈴木幹子さん、感染・管理認定看護師の小野寺隆記さん、薬剤師の松岡佳吾さん、事務員の吉村圭亮さんの5人です。派遣期間は24日までで、現地の保健センターに常駐しながら診療に当たり、特に体制が確立されていない夜間診療にも従事しました。出発式で石倉医師らはそれぞれ「専門知識を役立てたい」「適切、安全な医療を心掛けたい」と述べておりました。当院の基本理念である“心ある医療”で少しでも被災地の方が元氣になっていただければと思います。

創刊号では当時の橋本病院長（現名誉院長）のごあいさつからスタート。

この年、新型インフルエンザが大流行。マスクの正しい付け方の記事がありました。

当院の医師らで編成した医療支援チームが東日本大震災被災地に派遣されました。

第158号
(2018年10月)



第177号
(2020年5月)



第184号
(2021年4月)



いざという時に備えて
～家庭で出来る備蓄食品～

先日の「北海道胆振東部地震」を受けて、改めて日頃から災害時に備えておく大切さを感じた方もいたかと思います。特に食料品の備蓄は被災生活を大きく左右するものでもあるので、今回は災害時の食の備えについてご紹介します。

災害が発生して、救急体制が整うまでに少なくとも3日以上はかかると言われております。そのため最低でも3日分、出来れば1週間分程度の食料品を確保しておきましょう。

★家庭で準備しておくべき備蓄食品★
①水（1人1日あたり飲料水1L/人、調理用含むと3L/人）
②主食（レトルトご飯 無洗米、もち、乾麺、シリアル）
③主菜（肉・魚・豆などの缶詰、レトルト食品、冷凍食品、ロングライフ牛乳）
④副菜・その他（即席みそ汁・カップスープ、野菜・果物ジュース、果物缶、栄養補助食品、カセットコンロ・ガスボンベ）

この年の9月「北海道胆振東部地震」が発生。備蓄食品についての記事がありました。

祝 函館中央病院開院 90 周年
～昭和5年（1930）6月開設から90年～

当院は1930年（昭和5年）6月の開設から今年で90周年の節目の年を迎えます。

90年という歳月を重ねることができたのも地域の皆さまのご支援の賜物と感謝いたしております。本来ならば例年同様6月の第一週を開院記念週間と題して市民公開講座やパネル展示などの各種イベントを行いたいところですが、今年は新型コロナウイルスの影響を考え、全てのイベントを中止とさせていただきます。新型コロナウイルスの早期収束を願いつつ、これからも地域の皆さまに信頼され、選ばれる病院を目指して参りますので引き続きのご支援のほど、宜しくお願い致します。

【開院当初】

開院90周年を迎えましたが、新型コロナの影響でイベント等は行いませんでした。

社会福祉法人 函館厚生会 函館中央病院 広報誌

第184号
R3年4月発行

電車どおり

今月の表紙
函館中央病院 外観

もくじ

1. NEW FACE	2p
2. 糖尿病・内分泌内科 外来本格稼働	2p
3. 眼科外来の移転について	3p
4. 形成外科外来の移転について	3p

紙面リニューアル！
今後とも宜しくお願いします！

大幅リニューアルし現在の紙面構成になりました。今後も宜しくお願いします！